

ヤマト福祉財団 NEWS

ヤマトグループ賛助会員向けニュース(季刊)

発行部数12万部・非売品

YAMATO WELFARE FOUNDATION

No.33

1月20日発行 2012 Winter

第12回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞

卓越した行動力で 障がい者の働く場を 開拓しました

第12回 ヤマト福祉財団小倉昌男賞 贈呈式

主催 公益財団法人ヤマト福祉財団



東日本大震災
生活・産業基盤
復興再生
募金
ヤマト福祉財団

写真前列左より受賞された柴田氏令夫人、柴田智宏さん、清田 廣さん、清田氏令夫人

後列左より森下明利ヤマトグループ企業労働組合連合会会長、有富慶二ヤマト福祉財団理事長、瀬戸 薫ヤマトホールディングス株式会社代表取締役会長、山内雅喜ヤマト運輸株式会社代表取締役社長

東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金
第二次助成先を訪ねて

岩手県野田村・野田村保育所再建事業
保育士としていま子どもたちにできることを

p07

蓮舫大臣、池田守男委員長がヤマト福祉財団を視察、激励
官と民が支え合い

被災地の求めるより良い答えを

p12

私たちの賛助会費が活かされています

■障がい者福祉助成金 助成先レポートVol.13 (白山市)

一杯のラーメンに社会との絆を求めて p14

この街で一緒に生きていく 障がい者のクロネコメール便配達

一人で配達することが、楽しくって、うれしくって。 p16

私を待っていてくれる人がいます

クロネコメール便配達 本人による特別報告会 p18

第12回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞 贈呈式

卓越した行動力で 障がい者の働く場を開拓しました

平成23年12月5日／東京・日本工業倶楽部



正賞のブロンズ像を受け取る清田 廣さん



「ふだんは笑顔だが差別を目の当たりにすると怖い顔になる。頑固なまでに60年間ずっと闘ってきたのが清田さん」と、推薦者の石野富志三郎 財団法人全日本ろうあ連盟 理事長



会場に広がる手話による拍手

障がい者の自立が困難な現状に
憂い、当財団を創設した小倉昌男
初代理事長。その名を冠し、障が
い者の経済的自立や雇用に大きく
貢献された方々を讃えるのが本賞
です。今年で12回を数え、初めて
聴力障がいをお持ちの方が受賞を
されました。そして中国地方から
受賞者が選ばれたのも初めてのこ
ととなります。ですが理不尽を許
さない強い正義感は、受賞のお二
人に共通するものです。

大阪の清田 廣さんは、幼少時
に接種したストレプトマイシンの
副作用により失聴。その後、大阪
ろうあ協会青年部の設立に尽力し
たのを皮切りに、社会的差別に正
面からぶつかり、聴力障がい者の
社会参加に一貫して取り組まれま
した。

近年は、高齢化しろうあ者を
介護するためのしくみが手つかず

のままである現状に強い危機感を
覚え、高齢ろうあ者を、介護資格
を取得したろうあ者自身が支える
しくみの構築に奔走。平成12年に
介護の指定事業所を自分たちで立
ち上げるだけでなく、手話通訳を
伴ったヘルパー養成講座の設置や
手話を用いた資格試験の実施を、
大阪府と話し合い、これまでに聴
力障がい者のホームヘルパーを
100名超、同介護福祉士5名
ケアマネジャー1名を誕生させ、
聴力障がい者の老後ケアのみ
ならず、職域の拡大による障がい
者雇用にも先進的な役割を果たし
ています。

一方、岡山県北部は蒜山高原産
のそば粉を生かした製麺事業で、
注目を集めているのが柴田智宏さ
んです。





来賓を代表してご祝辞をいただいた厚生労働省
社会・援護局 障害保健福祉部長 岡田太造氏



「いずれ劣らず素晴らしい方ばかりだったが、
すんなりと決まった。それほどお二人は群を
抜いていた」と報告する選考委員・藤井克徳
きょうされん常務理事



贈呈式後に催した祝賀会



緊張の面持ちの柴田智宏さん



「一人のお客さんを120%喜ばせることができれば、つぎ
のお客さんを連れてきてくれる」という柴田さんの哲学を
明かす、推薦者の坂手修三 NPO法人かがやきプロジェ
クト理事



花田春兆さんから俳句の贈呈

障がい者の能力をなかなか引き
出すことのできない従来の福祉の
あり方を根本から見直し、組織面
でも労働専門職員と支援専門職員
を分離。役割分担を明確化させる
ことで、一般市場で闘える生産体
制を確立しました。また、既成概
念に縛られず、お客様のニーズを
かならず叶えることを目標に商品
開発に努め、いまやその売上は
1億円を超えます。とくに驚異的
なのはその伸び率です。
また、6年前はひと月の平均工
賃が10名の利用者に約1万円でし
たが、現在では36名の方に5万円
以上の給与を実現しています。そ
ろばも弾ける福祉事業者として
の「納得の実績に加え、これから

のさらなる期待も込めた」（選考
委員会談）受賞となりました。
有富慶二理事長は、「商売では
新しい商品を開発した人が一番誉
められます。さらに真似されるよ
うであれば真の本物」と、清田さ
んの大阪での試みが東京などでも
真似されている点を賞賛すると
もに、単に生産するだけでなく「価
格決定権を自分たちで確保するし
くみをつくったところは（福祉プ
ラス商売）のプロの誕生」と柴田
さんの活躍を喜びました。
賞状ならびに正賞として、母子
のブロンズ像「愛」が贈呈され
ると、ふだんは拍手で満たされる会
場ですが、今年は様子が違いま
す。両手を挙げて、星がきらきら
輝く様子を示すような、手首を回
して手の表裏を見せる、手話の静
かな拍手が広がりました。
お二人にお祝いの俳句を贈られ
た花田春兆さんからは「ご自身も
手話をお使いになる清田さんだか
らこそ、同じ障がい者に大きな働
きかけができたのでしょう。これ
ばかりは関係者や研究者にでき
ることではない。柴田さんは福祉
の世界にとどまらずにもっと一般
を相手にしようとの思いで活動を
広げられていて、その革新性に感
動します」とのコメントも寄せら
れました。つづいて厚生労働省
社会・援護局 障害保健福祉部長
岡田太造さんからも祝辞をいた
だき、贈呈式終了後はフロアを移し
て祝賀会が催されました。

実る秋を 導きし 手よ 手話の手よ

花田春兆



受付にて。スタッフの暖かい笑顔は、相談に訪れる人を心強くします

大阪ろうあ会館
居宅介護支援・訪問介護
手話通訳派遣・ろうあ者生活相談

社団法人 大阪聴力障害者協会
電話 06-6761-1394 FAX 06-6768-3833

(社)大阪聴力障害者協会のバンフレット

事務所内のビデオライブラリーにて、社会教育関係からテレビドラマまで、字幕入りビデオテープに加工していつでも閲覧できるようにしています



地域活動支援センター「ほほえみ」のサービス管理責任者 廣田しづえさんは、ろうあ者介護ホームヘルパー1級資格取得第1号。ろうあ者の新しい職域を切り開きました



ろうあ者ホームヘルパー派遣のしくみを作り上げた

手話の力を仲間の幸せのために——
大阪府で聴覚障がい者の運動をリードした清田さんを訪ねました。

理不尽を生きる

社団法人 大阪聴力障害者協会は、法人格が物語る通り、聴覚障がい者本人が会費を払って社員となり運営を支える当事者組織です。その歴史は古く、昭和25年6月に「ろうあ者によるろうあ者のためのろうあ者の組織」としてスタート。以来、全国のろうあ者団体を常にリードしてきました。このような団体が認められていても、今から40年前、清田さんらは障がいのみならず差別や偏見にも耐え、支え合いながら暮らしていました。さらに生計をたてるうえで最も大きな障害は、「聾者、聾者は準禁治産者とする」民法11条の存在でした。

教育と就職の困難も

当時は社会生活に必要なことを勉強することさえ苦労が多く、進学をあきらめて就職することも難しい状況になってしまふ悪循環。このことを打開するために清田さんらは、手話通訳指導者の養成からはじめ、資格の必要な仕事には受験時の手話通訳派遣を行うなどひとつひとつ丹念に課題を解決。1979年には念願の民法11条も改正されました。

また、資格取得の欠格事項からろうあ者を外すための啓発活動も地道に行い自動車運転免許の取得も認められるようになって仕事や生活にも大きな前進がありました。

ろうあ高齢者の課題

統合教育や周囲の理解が進展し始めた今、もっとも大きな問題は、若い世代に教育や就職で困難な状況にあった人たちが高齢期をむかえたことにあります。当時の民法11条の制限により十分に家庭や財産を築くこともできず高齢期を向けた方々は、ほとんどが一人暮らし。協会の会員1900人のうち、60歳以上は980人（うち75歳以上350人）となり、老人ホームで意志の疎通ができなかったり、一人暮らしでも周囲から孤立してしまったりしている状況が多発しています。

課題解決の手段とは

手話のできる自分たちでお世話すれば。清田さんらは介護保険制度がスタートするときに、聴覚障がい者が居宅介護事業のホームヘルパーとして派遣できるよう準備を始めました。やがてホームヘルパー1級の資格を取るため健常者の講習会に飛び込んで受講する人が現れました。そしてついに合格。大阪府も聴覚障がい者自らがヘルパーとなることの有効性を認識。手話通訳を講習会に派遣して応援を始めました。

各地に広がるろうあ者ホームヘルパー派遣の取り組み

ホームヘルパーとなった人には主婦も多く、家計の助けになる仕事として

社団法人 大阪聴力障害者協会
副会長 清田 廣さん

も注目されて、今では100名以上が資格を取得。60名近くが現在も稼働しています。

この取り組みの大きな特徴は、介護を受ける大阪府内100名以上のろうあ高齢者と介護という新しい職域で働くろうあ者が従事する組織的な「しくみ」として立ち上がったことにあります。そして、この大阪での取り組みが励みとなり、各地で同様の取り組みも広がってきています。

一般にはまだまだ知られていない苦労を解決しながら活動を続ける大阪聴覚障害者協会のみなさん。清田さんは今も仲間全員の幸せを願って仕事をしています。

DATA

〒540-0012 大阪市中央区谷町5-4-13
大阪府谷町福祉センター 4階大阪ろうあ会館内
TEL: 06-6761-1394 FAX: 06-6768-3833

〈現在の活動状況〉

聴覚障害者向けホームヘルパー ▶ 45名（聴覚障害者27名・手話のできる健聴者18名）

介護福祉士 ▶ 6名（ろう2名、健聴者4名）

〈今までの資格所持の実績〉

聴覚障害者のホームヘルパー資格所持者 ▶ 100名超

聴覚障害者の介護福祉士 ▶ 5名

〈聴覚障害者向けホームヘルパー養成講座開講予定（大阪府より委託）〉
5月～7月／定員20名

蒜山の 雪と浄さを 競う蕎麦

花田春兆



金属探知機のついた自動包装機は障がい者の能力を補う大切なしくみです



大型ミキサーの前に集合して記念撮影



乾燥室の三つ折りそばとうどんの仕上がりを確認する柴田さん



お土産品として開発した乾麺シリーズ。商談時には商品開発力もアピールできます

製麺業で年商一億円超へ――

「やればできる」を実証した 柴田さんを訪ねました。

高原に立つ製麺所

岡山県の北部にある蒜山高原。なかなか山に囲まれ、週末はハイキングやスキーでにぎわう観光地でありながら、平日は静かな高原に戻ります。牧草地が広がり、遠くには乳牛の姿も見えるのどかな地域。この環境で年商一億円以上売り上げをイメーজできる事業家がどれだけのいるでしょうか。障がいのある人たちが清潔な工場です。

新しい出会い

鳥取県倉吉市出身の柴田さんは、高校卒業後地元で社会福祉法人で働きはじめました。やがて障がい者施設に異動になり、うどん・蕎麦の製麺事業の立ち上げを担当。障がい者とともに取り組みつくりの魅力に取り憑かれました。自信を持つてすすめることのできる麺ができるようになった2年後、新しい部署への異動を機に退職。蒜山高原の保養所の空き物件で障がい者とともに働く製麺所を開業しました。蒜山高原には慶光園という入所施設があり、昼間は柴田さんの製麺所に通う人が出てきました。だったら一緒にやらないか。

福祉がビジネスか

障がい者施設の工賃向上の取り組みで、必ずぶつかるのが職員間の温度差。

慶光園も例外ではありませんでした。福祉職を希望して働く職員がいる一方で、お客様との約束を守るため奔走する職員もいる。製麺こっこのに陥らないように職員の考え方を合わせる必要に迫られました。「職員を福祉職と就労担当職に分ける」それぞれがプロとして力を出しきるしくみづくりに乗り出し、福祉もビジネスも行う慶光園として事業が深化し始めました。

本物の品質を追求

真面目に仕事をすれば認められる。麺づくりの基本をブレずに追求していた柴田さんに第二の転機がやって来ました。自分たちの作った麺をお客様に持ち込むと、どの人もおいしいと認めてくれるようになったのに、商談に結びつかないケースが増えてきたのです。原因は、製麺所の衛生管理にありましたが、柴田さんのターゲットが品質管理を重視するプロバイヤーに移っていたのです。情熱を認めてくれたバイヤーの一人が「これではうちの会社は取引できない。食品工場に最低限必要な設備があるのだから、設備投資してください。」この瞬間から新工場の立ち上げが始まりました。

次の目標は年商三億円

一昨年竣工した新工場は、エアコンや空調を備えた他、入退室経路も完全分離して衛生管理を徹底。商品も金属探知機ですべて検査する清潔な工

社会福祉法人蒜山慶光園
就労継続支援B型事業所
ワークスひろるぜん
理事・所長 柴田智宏さん

場へと生まれ変わりました。乾麺に加えて独特な製法で作られる冷凍手打ちうどんも生産。プロの蕎麦店・うどん店からも取引いただくようになりました。乾麺も三つ折りして乾燥させたアイデア商品や牛乳、ニンニク、ウコンなどを練り込んだ特注品も生産し、商品開発力をアピール。今では取引先から新商品の相談も受ける程になっています。「この工場は三億円までは売り上げることができる設備になっているんです。」柴田さんは、東京や大阪に販路を求めはじめています。

〒717-0602 岡山県真庭市蒜山上長田2300-1
TEL: 0867-66-7750 FAX: 0867-66-7760

〈売上・平均工賃の推移〉

年度	売上(円)	平均工賃 (時給/円)	平均支給 月額(円)	人数
2004	4,000,000	80	10,560	10
2005	20,000,000	120	15,840	20
2006	40,000,000	135	17,820	20
2007	50,000,000	175	23,100	25
2008	65,000,000	221	29,172	25
2009	98,000,000	330	43,650	36
2010	108,000,000	383	50,560	36

受賞の
ことば

コミュニケーションのバリアフリー化で 聴力障がい者をもっと活躍できる

聴力障がい者には自立した方と支援が必要で、高齢の聴力障がい者、そして聴力障がい以外の複数の障がい者を併せ持つ重度障がい者がいます。

中でも、70歳以上の高齢聴力障がい者の場合は、教育を受ける機会がほとんどあてられずに育ってこられたので、言葉を持っていない方もたくさんおられます。言葉を持たずして長い年月をどのように生きてこられたのか。我々でさえ想像ができません。

聴力障がい者も人です。人として生まれてよかったと思える生活の場が必要です。その思いを私たちが行動に移したものが、支援施設の建設運動と聴力障がいを持つヘルパーを雇用する事業でした。聴力障がい者を支援しようと思えば、同じ障がいを持ち、手話でコミュニケーションの図れる障がい者が支援に関わることが一番です。施設は利用目的を検討して三つ作りました。それには30億円もの資金が必要でしたが、行き場のない聴力障がい者が大勢います。避けて通るわけにはいきません。多くの仲間とやり遂げました。

しかし施設が実現しても入居できる人の数には限りがあります。効果的な在宅支援には何が必要か？ つぎに介護ヘルパーの育成に白羽の矢を立てました。介護の仕事をしたと思うっている聴力障がい者はたくさんいます。しかし、そのためにはさまざまな資格を取得しなければなりません。そこでまたコミュニケーションの壁が立ちあがります。

資格取得のバリアフリー化を求めて、私たちは大阪府に聴力障がい者のヘルパー養成を依頼。一旦は実現したものの予算化が終わってしまつたため、ついに今年、我々自身でヘルパー養成を行う申請を行いました。認められれば、来年度から聴力障がい者だけを集めた養成講座を開講し、介護支援する人々を大きく増やしていくことができるでしょう。ですが、全国を見るとヘルパー事業を実施しているところあ協会はまだ3、4カ所程度です。できるだけ早く、全国どこでもきちんとした介護支援が受けられるよう、活動を広げていくことも私の役割だと思っています。

受賞の
ことば

受賞は私たちチーム一同へのご褒美 これからもスクラム組んで挑戦をつづけます

就労支援に私がつきあうきっかけには、ある障がい者との出会いがあります。その方はいつも私に「もっと給料がほしい。柴田といっしょに自分の稼いだお金で飲みにいきたい」と話をしてくれていました。

福祉の現状について考えると、一生懸命働こうが、同じ時間をゆつくり過ごそうが同じ給料が支払われている現実。そして障がい者を守るための支援が、障がい者の能力を引き出すという点からすれば、むしろ足かせになっているのではないかと感じ悩みました。

やがて自分は、障がい者自身が選択を決定できるような環境、それともたくさんの選択肢がある環境をつくるのが大事ではないかと、考えるようになりました。福祉の中にはいろいろな分野の「しあわせづくり」があると思います。私は選択肢を増やす取り組みとして、「儲ける／労働する」を柱にしあわせづくりを努めることを決めました。それからは就労支援に日々、チャレンジです。パワーアップセミナーも受講し、奮い立つほどの刺激を受けました。

しかし、始めは売上を立てたいと、1000人に売る商売に価格競争に挑み、同業者との熾烈な闘いに疲弊するばかり…。発想を変える必要がありました。そこで一人のお客様を大事にする商品づくりに方向転換。お客様の声に耳を傾け、次第に私たちの蕎麦は、一般市場で聞える商品に鍛え上げられていきました。また組織をもっと活性化し心をつなぐために、「本当に輝きたかった」「商品を通して心が通じ合う」という思いも込めた歌も制作しました。

このように、さまざまなことにトライして売上を伸ばしてきましたが、自分は今の売上1億円で満足してはダメだと思っています。5万円の給料は福祉の世界では素晴らしいことです。しかし、ここで足を止めてしまつたら、福祉の山で終わってしまいます。福祉の枠をはみ出し、確固たる製麺業の町工場として、蒜山の産業の核に！ 広く雇用の受け皿になって地域を盛り上げていきたい。受賞はその叱咤激励と受け止めています。



清田 廣さん
社団法人大阪聴力障害者協会
副会長

1943年、大阪府守口市生まれ。50年に脳膜炎によるストレプトマイシン注射の副作用で失聴。65年、社団法人大阪ろうあ協会青年部委員。以降、常任理事等を歴任。82年社団法人大阪聴力障害者協会副会長に就任し、88年には会長に。また同年、大阪府福祉のまちづくり推進委員会委員等に就任。98年、厚労省身体障害者介護等サービス体制整備検討会 委員就任。2009年に現職就任。2011年、社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会理事就任。



柴田智宏さん
社会福祉法人蒜山慶光園 ワークスひるぜん
理事・所長

1974年、鳥取県倉吉市富海生まれ。93年、社会福祉法人敬仁会に入職。96年に通所授産施設敬仁会館で椎茸作業を立ち上げ。2002年には通所授産施設ワークホームあしたばにて製麺作業を立ち上げ。04年、敬仁会を退職し、岡山県真庭市蒜山地域の空き物件にて製麺所を立ち上げる。翌年、社会福祉法人蒜山慶光園に入職。ヤマト福祉財団パワーアップセミナー参加。06年、ワークスひるぜん所長に。09年、新築製麺工場竣工。

第二次助成先を訪ねて

「岩手県野田村・野田村保育所再建事業」 保育士として いま子どもたちとでるいっしょを

「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」の第二次助成先が六つの事業に決定しました。
今回はその中から「社会福祉法人野田村保育会」「釜石市漁業協同組合連合会」「相馬市」の三カ所を訪ねました。

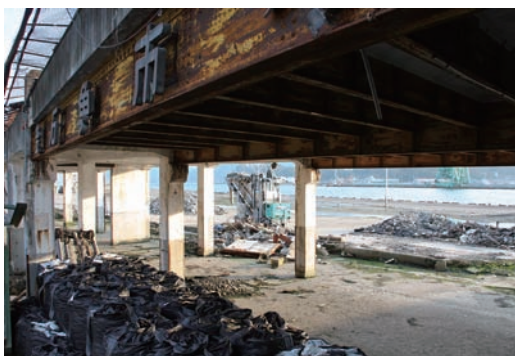


野田村臨時保育所で遊ぶ子どもたち

地域と一体となった 子育て支援拠点

美しい野田湾を一望できる野田村保育所からは、いつも子どもたちの笑い声が聞こえてきました。「地域で支える、親子にやさしい環境づくりを目指して」。そんな経営理念を掲げる野田村保育所は、世代間交流事業、障がい児保育事業、延長保育促進事業、乳児保育促進事業などを村一体で進めていく、村の大切な子育て支援拠点です。しかし、平成23年3月11日に襲った津波に、野田村保育所は、あっという間に流されてしまいました。「実は防潮堤に亀裂が入っていることがわかりました。今年、早速予算を組み修復工事に入ろうとしていた矢先、その防潮堤を津波がのみこんだのです」と小田祐士野田村長。

防潮堤を破り襲ってきた突然の津波。しかし野田村保育所は、すべての子どもたちを無事避難させることができましたのです。



振り返ります。そのお陰で続けて起こる激しい地震の中でも、保育所から30分かけて2km先にある安全な高台の中学校まで、すべての子どもたちを無事に避難させることができました。津波が村を襲ったのはその直後、地震発生から約30分後です。野田村では、この震災により三百棟以上が全壊、37人が死亡しました。津波に流された保育所の跡は、いまは瓦礫置き場と

[DATA]

●旧保育所

建物:638.30m²、
敷地:3042.17m²、
園児:90人定員(91人入所)、
職員:16名

●新保育所(平成24年8月建設予定)

建物:862m²、敷地:5361.39m²、
園児:90人定員、職員:16名

なり、門柱だけが痛々しく残っています。

子どもたちに安心・安全・満足できる施設と環境を

震災により施設を失った野田村保育所。復興に走り回る保護者のためにも、子どもたちを安全に預かる施設が早急に必要です。そこで野田村では、閉鎖していた旧新山保育所を急遽開放しました。

「すぐに臨時の施設を手配いただき、とても助かりました」と野田村保育所の所長 玉川久美子さんは感謝しています。91人の子どものうち、何人かは保護者と一緒に別の地域に避難するなど分散したため、現在は64人の子どもたちが旧新山保育所に通っています。しかし、この施設の定員は45人、64人の子どもの保育を行うには狭過ぎます。さらに野田村保育所



では、毎年90人の定員で子どもたちを迎えています。このままでは通年通りの定員を受け入れることは不可能です。

「早く野田村に帰りたい」と願う保護者や子どもたちの期待に応え「一刻も早く子どもたちに安心・安全・満足できる環境を用意してあげたい」そんな気持ちを野田村全体が抱き、支援をはじめました。

土地は用意できた後は建設のための費用

新しい保育所を建てるには、次の条件を満たす土地が必要です。「いままでよりも高台で津波の心配がなく、伸び伸びと子どもたちを育てられる場所」そんな希望に沿って、野田村では理想的な土地を早速用意しました。用地費は補助の対象外ですが、村の土地で何とかできました。しかし、問題は保育所の建設費です。別の土地に新たに建設すると、災害復旧費とは認められず、国の助成を頼っても約半分から多くても四分の三しか



【釜石市漁業協同組合連合会】 魚市場経営基盤再生事業

無惨に破壊された市場と碎氷機の残骸



碎氷車、殺菌冷海水製造装置で 水産物の鮮度を保てる体制に

岩手県東南部に位置する釜石市の目前に広がる大平洋は、黒潮と親潮が交わる世界有数の漁場です。しかし、近年は国際的な漁業規制の強化による影響に伴い、遠洋沖合漁業は厳しい状態に。そこでリアス式海岸という地の利を活かした養殖漁業に切り換え、新たに漁業の活性化を図っていました。そんな中、町を襲った津波がいままですべての施設を奪い去ってしまったのです。

「それでも何とかしなければ」という強い思いで考えたのが、まずは水揚げがしやすい衛生的な市場へと体制を立て直すことでした。「そのためには、移動式碎氷車両と殺菌冷海水製造装置の購入が必須でした」と釜石市漁業協同組合



連合会の原田祐吉業務参事は話します。

今回購入する移動式碎氷車両で、船積氷や市場内氷を短時間で効率的に供給できるようになります。さらに殺菌冷海水製造装置を使えば、より衛生的かつ高品質に水産物の鮮度を保つことが可能となります。

「まずは水揚げ強化を果たし、市場としての機能を回復させること。その上で、やがては産地間競争に対応できる『釜石ならではのブランド』を構築していきたい」とそんな希望を抱き、組合員一丸となり、町と市場の復興に立ち向かっています。

【アクアマリンふくしま熱源設備改修復興事業】

約9割の魚に水温・空調管理が急務とされていた第一次助成先の一つ「アクアマリンふくしま」。昨年12月、無事に熱源装置改修工事を完了し本格運用を開始しました。



津波被害を避け、高い位置に設置された熱源装置



年間100万人が利用する福島県の観光シンボル 12月16日に運用開始式が行われました

保育士として精一杯 子どもたちにできることを

森さんより助成決定の報告が野田村保育所に届いた時、それを聞

いた職員の中には、思わず涙ぐむ者もいました。「これでやっと子どもたちを安心して保育できる新しい施設を建設することができると不安な毎日から解放され、保育に専念できる。そう思うと本当にうれしくて」と玉川所長。元氣一杯に遊ぶ子どもたちを見つめながら、玉川所長はこう続けました。

「私は所長として経営者である前に一人の保育士として精一杯のことを子どもたちにしてあげたいのです。新しい施設が完成したら、震災前と同じように、いろいろな活動ができるように頑張っていきます。子どもたちには今回の震災の体験を忘れずにいてほしいですし、苦境に負けず、伸び伸びと育ってほしいと願っています」。

地域一丸となって子どもたちを育てていく...そんな人々に見守られながら、子どもたちは今日も明るく保育所に通っています。

第1次助成先のその後...「岩手県 水産加工事業者 生産回復支援事業」

岩手県は、「被災した県内の水産加工事業者の生産回復を支援し、沿岸地域の基幹産業である水産業の早期回復の促進」を目的として「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生基金」に助成を申請。第一次助成先として総額16億円の助成が決定し、先日その内容が明らかになりました。岩手県では、この助成金を「民間水産加工事業者の水産加工用生産機器の購入・設置等を補助するもの」として、次の計107の事業者に対しスピード助成し、多くの水産加工事業者の早期回復に役立てています（2012年3月までに全助成を完了予定）。

所在市町村	事業者等名	整備する機器類
山田町	㈱山崎水産	サケカuttingマシン等
山田町	㈱川石水産	ボイルシステム等
山田町	㈱金澤水産	サケカuttingマシン等
山田町	㈱長根水産	サケ三枚卸機等
山田町	㈱カネゼン商店	イカ短冊カッター等
山田町	㈱木村商店	真空包装機等
山田町	大和水産㈱	魚類乾燥機
山田町	㈱まるき水産	大型製氷機等
山田町	ヤマダイ山崎	フォークリフト等
山田町	マルサささき	冷凍機等
山田町	尾半加工センター	プレハブ冷凍庫等
大槌町	㈱ナカショク	サケフィレマシンライン等
大槌町	T R S食品㈱	乾燥装置
大槌町	㈱浦田商店	プレハブ凍結庫等
大槌町	たかのり海産	サケ三枚卸機等
大槌町	及順商店	冷凍設備等
大槌町	小豆嶋漁業㈱	冷風乾燥機等
大槌町	芳賀鮮魚店	プレハブ冷蔵庫等
釜石市	㈱津田商店	貫流蒸気ボイラー等
釜石市	双日食料水産㈱	製函ライン等
釜石市	小野食品㈱	深絞り包装機等
釜石市	平庄㈱	サバ処理機等
釜石市	㈱井戸商店	金属探知機等
釜石市	阪神コーチャーズ㈱	サケ、イクラライン等
大槌町	㈱伊藤商店	冷凍機等
釜石市	玉木商事㈱	搬送装置等
釜石市	㈱丸辰カマスイ	サケ三枚卸機等
釜石市	阪神低温株式会社	冷凍庫及び冷凍機等
釜石市	㈱リアス海藻店	ワカメ処理コンベア等
釜石市	㈱ヤマキイチ商店	冷凍庫等
釜石市	㈱菊鶴商店	乾燥機等
釜石市	㈱近藤商店	加熱処理機等
釜石市	雁部冷蔵㈱	冷風乾燥機等
釜石市	㈱金井商店	サケメフン取り等
釜石市	さんりく工房㈱	ワカメ、コンボイル加工設備等
大船渡市	大洋産業㈱	サケ三枚卸機等

所在市町村	事業者等名	整備する機器類
洋野町	㈱カネセ関根商店	イクラもみ機等
洋野町	㈱三浦商店	フォークリフト等
久慈市	八戸匠詰㈱	真空ニードラー等
久慈市	㈱大原商店	包装梱包機
久慈市	㈱ヤマキ商店	ガッティングマシン等
普代村	㈱越戸商店	サバ選別機等
普代村	㈱マルサ峯峨商店	排水浄化設備等
野田村	㈱O・B・Fのだ	中温エアコン等
田野畑村	㈱竹下水産	排水処理機器
宮古市	㈱おがよし	マリンシャベットシステム等
宮古市	㈱須藤水産	魚卵サバレート等
宮古市	㈱翔洋	コンピュータ選別機等
宮古市	㈱宮古製氷冷凍工場	冷却タンク等
宮古市	㈱佐々幸商店	サケ三枚卸機等
宮古市	㈱大井漁業部	重量選別機等
宮古市	フードバック㈱	三方シール包装機等
宮古市	㈱マルヒロ	魚類選別機等
宮古市	㈱佐々由	サンマ選別機等
宮古市	㈱後藤商店	真空包装機
宮古市	㈱伊藤水産	冷凍機等
宮古市	㈱かくりき商店	フォークリフト等
宮古市	㈱小が理商店	選別機等
宮古市	㈱佐々京商店	殺菌水生成装置等
宮古市	㈱佐幸商店	サケ三枚卸機等
宮古市	大井商店	冷風乾燥機等
宮古市	山根商店	サンマ選別機等
宮古市	古須賀商店	サケフィレマシン等
宮古市	㈱吉儀商店	色彩選別機等
宮古市	柳沢商店	充てん機等
宮古市	小が富商店	冷風乾燥機等
宮古市	㈱丸徳	サイレント・カッター等
宮古市	㈱山英	イクラ攪拌機等
山田町	山田の牡蠣くん	真空包装機等
山田町	㈱川秀	衛生検査機器等
山田町	貫長水産㈱	フォークリフト等
山田町	㈱丸一水産	切れ目入れ機等

東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金

第2次助成先を決定しました



「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」の第二回「復興支援選考委員会」を昨年10月11日に開催し、第2次助成先を決定しました。

選考対象とした51件の事業の中から「見える支援、速い支援、効果の高い支援」また「単なる資金提供ではなく新しい復興モデルを育てるために役立てていく」という助成目的のもと、下記の6件の事業を選考し、総額33億8,800万円を助成しました。

●「東日本大震災 復興支援選考委員会」委員

- 委員長…内田和成：早稲田大学大学院商学研究科教授／早稲田大学ビジネススクール教授
- 委員(五十音順)…家田仁：東京大学社会基盤学教授／土木学会副会長(震災担当)、小泉武夫：東京農業大学名誉教授／農学博士、野田由美子：ブライスウォーターハウスクーパース株式会社／パートナーPPP・インフラ政府部門アジア太平洋地区代表、林春男：京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授

●第2次助成先

申請団体	事業名	助成金額(単位:千円)
岩手県	水産業共同利用施設復旧支援事業	530,000
岩手県	製氷・貯氷施設回復支援事業	996,000
釜石市漁業協同組合連合会	魚市場経営基盤再生事業	155,000
宮城県	農業生産復旧緊急対策事業	1,324,000
社会福祉法人野田村保育会	野田村保育所再建事業	280,000
相馬市	相馬港海上コンテナ物流基盤整備事業	103,000

●被災地の復興に携わる自治体、公益法人などのみなさまへ

ヤマト福祉財団は「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」における助成事業の応募を受付けています。1事業への助成は原則として1億円以上、20億円を限度とします。2011年度は合計5次の応募期間を予定しています。

●詳しくは…

ヤマト福祉財団の特設サイト「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」をご参照ください。

<http://www.yamatowf-saisei.jp/>

●お問い合わせは…

公益財団法人ヤマト福祉財団

「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」 担当まで。

フリーダイヤル 0120-801024

●寄附金の状況

12月末までの寄附金総額はヤマトグループからの「宅急便1個につき10円」110億7800万円と、個人様・法人様とあわせ、136件110億9300万円となりました。

※当財団への寄附金につきましては、財務大臣から「指定寄附金」に指定され、税制優遇措置があります

※2011年9月1日(木)より、クレジットカードでの寄附受付を開始いたしました。

【南三陸町・水産産業基盤施設緊急復興事業】

前号でご紹介した「南三陸町」では、志津川漁港に仮設市場を建設。昨年10月21日に完成し、24日に初競りが行われました。



ヤマトグループよりプレートを贈呈しました(写真上)オープニングセレモニーに引き続き、初競りを実施しました(写真右)



所在市町村	事業者等名	整備する機器類
大船渡市	鎌田水産㈱	トンネルフリーザー等
大船渡市	岩手缶詰㈱	ボイラー等
大船渡市	東和水産㈱	サンマ選別コンベア等
大船渡市	㈱國洋	空調・テンパリング等
大船渡市	及川冷蔵㈱	排水処理施設
大船渡市	西館冷蔵㈱	ヘッドカッター、連動フィレマシン等
大船渡市	森下水産㈱	サーモジャックフリーザー
大船渡市	サンコー食品㈱	トンネルフリーザー
大船渡市	㈱まるか	真空包装機等
大船渡市	㈱田村蓄養場	干しアワビ選別機
大船渡市	㈱大力水産	サンマ選別機等
大船渡市	㈱阿部長商店	縦型袋詰真空包装機等
大船渡市	山岸冷蔵㈱	冷凍機等
大船渡市	理研食品㈱	裁断機等
大船渡市	カ印大群	フォークリフト等
大船渡市	熊谷商店	冷凍機等
大船渡市	㈱コタニ	プレハブ冷凍・冷蔵庫等
大船渡市	㈱毛利	サケフィレマシーン等
大船渡市	川原冷蔵㈱	小型自動選別機等
大船渡市	㈱ヤサカ水産	凍結庫等
大船渡市	丸竹水産㈱	サケ三枚卸機等
大船渡市	五十集屋	殺菌機等
大船渡市	マルカ川商㈱	サンマ選別機等
大船渡市	シダ商店	冷蔵庫等
大船渡市	森弘商店	冷凍庫等
大船渡市	大和田商店	冷蔵庫等
大船渡市	丸忠商店	サンマ開き機等
大船渡市	㈱千葉勝商店	冷凍冷蔵庫等
大船渡市	㈱三陸とれたて市場	業務用浄化槽等
大船渡市	㈱浦嶋商店	冷風乾燥機等
大船渡市	㈱広洋水産	選別機等
大船渡市	中島商店	冷凍冷蔵庫等
陸前高田市	㈱かわむら	排水処理設備
陸前高田市	㈱コマツ商店	サケフィレマシーン等
陸前高田市	あんしん生活	プレハブ冷凍・冷蔵庫等

官と民が支え合い 被災地の求める より良い答えを



池田守男
公益認定等委員会委員長



蓮舫内閣府特命担当大臣
(行政刷新)

11月8日、蓮舫内閣府特命担当大臣(行政刷新)と池田守男公益認定等委員会委員長が、ヤマト福祉財団とヤマトホールディングスの視察・激励に訪れました。ここでは、視察後の懇談会に出席されたお二人の話を中心にレポートします。

「私たちにも何か…」
その思いがすべての始まり

最初にお二人が訪れたのはヤマトホールディングス(株)本社1階の宅急便配送センターです。ここでヤマトホールディングス(株)木川社長が『東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金』のベースとなる「宅急便1個につき10円の寄付」について説明しました。

「宅急便ひとつに、希望をひとつ入れて。」この震災復興支援活動は、昨年3月11日に発生した東日本大震災の直後、被災地を訪れた木川社長の「私たちもなんとかしなければ」という強い思いから始まった寄付活動です。

視察後の懇談会で、木川社長と有富理事長は「宅急便1個につき10円の寄付となると純利益の約4割です。うちの会社は今年で92年目、ずっと世の中に育てられてきた訳ですから、1年くらいなら株主のみなさまにも認めていただけるだろうと話をし、みんなの賛同を得て決断をしました。」またそんな中、公益認定等委員会の池田委員長より「公益法人としての『志』を実現するため、力を合わせ

て今回の震災にみんなで立ち上がっていきましょう」との呼びかけをいただきました、と振り返りました。

日本に寄付文化を 定着する出発の年

「いまこそ公益法人が中心になって何かサポートしなければ、と考えたのです。公益認定等委員会では、今年を『公益活動元年』とし、日本に寄付文化を定着するため

の出発点にしたいと願っています。それには全公益法人に理解いただく必要があります。リ、メッセージを発信したのですが、いち早くヤマト福祉財団に手を上げていただき、感謝しています」と池田委員長。蓮舫大臣からも、「池田委員長からヤマト福祉財団の話を聞いて、本場にありが

たいと思いました。民間のみならずが率先して動いてくださるのは、国としても歓迎すべきことです。そこで、既に公益認定を受けているヤマト福祉財団が復興支援活動をされるなら、迅速に変更要求を認めていってはどうかなりました」とお話がありました。

ヤマト福祉財団は、内閣府より「障がい者支援事業に加え、被災地の復興支援事業を追加する変更認



宅急便配送センターで作業の様子を視察されました



東北地方太平洋沖地震に関する
公益認定等委員会委員長からのメッセージ

平成23年3月31日

この度の東北地方太平洋沖地震により多くの生命を落とされた方々、その家族の方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

また、震災によって極めて苦しい生活を余儀なくされている方々の生活が一日も早く復旧、復興することを願ってやみません。同時に、震災の犠牲者から、被災地を支える社会の様々な分野でこの震災から立ち上がるという勇気と情熱が生まれることを願っています。公益の発展とも言うべき互助、共助の精神をもって被災地支援や復興復興の活動がされている方々に心より敬意を表します。

このような非常時の困難とも言うべき局面においては、官民問わず、国家あげての取り組みが必要であることは、皆様もご承知のことと存じます。

被災地や被災者支援に役立つ形で、皆様もご協力をお願いいたします。被災地や被災者支援に役立つ形で、皆様もご協力をお願いいたします。被災地や被災者支援に役立つ形で、皆様もご協力をお願いいたします。

※3月31日付「東北地方太平洋沖地震に関する公益認定等委員会委員長からのメッセージ」

「いまこそ公益法人の志を復興支援に役立てる時」池田委員長から全国の公益法人に発信されました

「民間らしい助成」を積極的に進める体制へ

『東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金』では「早い、効果がある、見える形を基準に、いままでになかったより民間らしい助成」を目指しています。

「民間らしい」とは、あまり公平ということを意識し過ぎずに、いいと思ったら仮設でもバンバン助成を行うことです」と有富理事長。それが本誌でもご紹介してきた南三陸町の仮設市場をはじめとする各地の復旧・復興事業の早期立ち上げにつながっています。

「いまの国の助成では、思ったようなお金の使い方ができない、ということが受け手側にあるのはよく承知しています。そんな歯がゆい部分を民間の『新しい公共』で埋めていただけたらいいのは、政府としても、被災地にとっても、非常にありがたいことです。そのための環境整備を全面的に支援しなければと考えています」と蓮舫

大臣。

現在、多くの法人がさまざまな支援活動を行っています。そこで壁となっているのが税金の問題です。一般の寄附金の場合は損金算入の限度額が設定されていますが、『東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金』は、全額損金に参入が認められる指定寄附金として6月24日、財務省より指定を受けました。

「税金を払い寄附をするということ、株主に説明するのはなかなか難しい。これに対しては税制上の措置が必要ではないでしょうか。今後は、もっと寄附しやすいようなインフラ整備をしていただきたいですし、委員会でもそういう提言をしていきたい」と池田委員長は話します。

受け手側の思いを重視し「新しい公共」を形に

「東日本大震災のような大きな

※1 公益法人とは

「公益法人とは、広く社会に役立つために、宗教や慈善、学術、芸術などの公益を行う法人のことで、100年以上の歴史を持っています。平成20年には、民間による非利益の活動を活発にし、民による公益を増進することにも官庁ごとの法人の設立・運営のばらつきを解決することを目的とした新公益法人制度がスタートしました。ヤマト福祉財団は、昨年3月に内閣府より認定を受け、4月1日から公益財団法人として始動して

います。

※2 新しい公共とは

「新しい公共」とは、従来の行政機関ではなく、地域の住民や民間団体などが、教育、子育て、まちづくり、防災・防災、医療・福祉、消費者保護などに共助の精神で参加する公共的な活動です。行政の一元的な判断ではなく、市民・事業者・行政の協働による「新しい公共」の実現で、現在の多様化した社会ニーズを満たすことを目指しています。

さらに大切なのは、支援を求める受け手側の思いを重視すること。それが、住みやすい国にする大きなポイントだと思っております」と、蓮舫大臣は懇談会でお話をされました。

この助成で復興事業がはじまればそこに雇用も生まれ、町は活気づいてきます。こうしたつながりがもつと広がるように尽力することこそ、私の役割だと思っています」と蓮舫大臣。

国難では、身近なところで、すぐ応えられるサービスとなると、国よりも公益法人の方が適しているのかもしれない。大事なものは、官と民がお互いにできる分野で支え合うということ。それが『新しい公共』だと思います。ヤマト福祉財団の助成は『新しい公共』を形にしたものと言えるでしょう。例えば仮設の市場には国は助成できませんが、ヤマト福祉財団なら可能です。

私たちの賛助会費が活かされています ■ 障がい者福祉助成金

助成先レポート

Vol. 13

一杯のラーメンに

社会との絆を求めて

NPO法人 あじさいの家
就労支援事務所 第2あじさい 食工房虎
就労継続支援B型
(石川県白山市)

おいしいと地元で評判のラーメン店「食工房 虎」。平日ランチのみの営業に、「休日も開けてほしい」というお客様の声も上がるほどです。工夫と努力で辿りついた味を武器に工賃アップに取り組みをお伝えします。

行き場を失った 人たちのために

真っ黒いスープは見た目を裏切る、野菜の甘みにあふれた仕上がり。保存料をいっさい用いず国産材料にこだわった自家製麺と一体

となつてクセになる一杯を提供しているのが、「食工房 虎」です。製麺機の導入に当財団の平成21年度助成を活用しました。
石川県南部の旧鶴来町（白山市）は古くから山の産物と海の産物が出会う市場町として栄え、酒

や味噌、醤油などの醸造業も盛んです。平成9年に発足した「鶴来・手をつなぐ親の会」を前身として、職員一名利用者一名でスタートした「あじさいの家」が大切にするのは地域のためのサービス。次第に利用者さんも増えてきました。そこで平成15年に第二の作業所として「食工房 虎」を新たに立ち上げることに決めます。

一度は社会に出る挑戦をしたものの、つまずいて行き場を失ってしまう障がいのある子どもたちもたくさんいます。そうした子どもたちもちゃんと社会に出て、さまざまな人たちと関わっていく力を持たなければいけない。ラーメン店ならばお客様の年齢層も幅広く若い方までいらっしゃるの、社会との接点にふさわしいと判断しました。

愚直な一歩を積み重ね

しかし当初は施設の新設に一部地域の方の理解が得られず、町長に「障がい者と私たちを隔てるの



お店の前に集合したラーメン虎のスタッフと金沢支部佐野委員長（右）



店の一角にある製麺機
①小麦粉を練って ②帯状に伸ばす
③スープにマッチする中太麺のできあがり



障がい者と支援者、 そして僕ら応援団の 成熟した関係



● ヤマト運輸労働組合
金沢支部執行委員長
佐野敏明さん

作業所についてすこし閉鎖的な雰囲気イメージしていたのですが、まったく裏切られました。みなさん、前向きでいきいきとされていて、知らないで暖簾をくぐったら、本当にぶつうのラーメン屋さんです。

「作業所も自立して、しっかりと良いものをお客様に提供する」という信念を持って、指導に当たっている理事長さん方の姿が心に響きましたし、利用者さんもその思いをちゃんと受け止めて一生懸命、働いていらっしゃるがよく分かりました。

福祉、福祉と考えるとつい私たちは構えてしまいがちですが、まずはお店のお客さんになる。それも障がい者のお店だからではなく、おいしいから食べに行く、そんなことから初めてもいいと感じることができました。みんなを誘っていきたいと思います。



均工賃が月約1万から1万2500円にアップすると同時に黒字化も果たしました。休日や夜の営業をどうするのかといった課題もあるようですが、米林さんの「目標は工賃5万円」と意気軒昂です。

「今の時代は福祉施設であろうと、一般の商売と引けを取らない仕事をしないとやっていけません。美味しくて安くて、地域の皆さんに愛されるお店を今後も追求していきます。それこそがここで働く利用者さんにとってもプラスに働くことです」と西理事長。そして「いずれは利用者さんですべて作れるようになって、2号店を出せたら、涙が出ちゃうかも」と希望をのぞかせました。



米林勇人所長



西 道子理事長

は生まれたときのただの偶然にすぎない」と、その必要性を直談判もしたと西道子理事長は語ります。結果、周辺の既存店に迷惑のかわらない異なった味にするという条件でオープンに漕ぎ着けました。

ラーメン修行には理事長自ら、東京のお店に勤め教えを受けましたが、東京の味はやはり地域の舌

に合わず、地道に改良を重ねる中で辿りついたのが富山のご当地ラーメンを彷彿とさせる「黒虎ラーメン」です。しかし中身はまったく



してスープに溶かすともた別の味が楽しめるよう工夫して一杯580円。大盛りは150円増しで提供しています。

のオリジナル。地元の醤油を生かし、具の肉団子を崩

自慢の黒虎ラーメン580円、餃子とライスがついて200円増

自家製麺で開けた可能性

しかし、小麦の高騰で麺の仕入れ価格が値上がったたり、質が安定しなくなったため、自家製麺に踏み出しました。製麺の一部や機械の清掃など利用者さんの作業種目を増やすことにも役立ちます。

「粉の配合や練り、太さにも試行錯誤を重ねました。スープにベストマッチするポイントを探して、塩分を極力抑え、保存料不使用の麺を生み出すまでに約半年かかりました」という所長の米林勇人さんをはじめとするスタッフの苦勞の甲斐あって、地元のグルメイベントでも好評を博し、認知度も着実に上がってきました。そのうえ、製麺機の導入でコスト面でも以前より一玉あたり35円安くなり、平



この街で、
一緒に生きていく。



公益財団法人ヤマト福祉財団
障がい者のクロネコメール便配達事業

一人で配達することが、 楽しくって、うれしくって。

埼玉県の東浦和駅からすぐ近くにある静かな住宅街が、ヒールアップハウス「晴れ晴れ」のメール便配達地域です。始めた当初は、なかなかうまく行かず、担当者をかなり悩ませたと言います。しかし今は、5名のメイトさんがいきいきとメール便配達に従事。その働きぶりを見て、他にもやりたいという人が増えてきているそうです。



まだ始めて1ヶ月の小屋原敏文さん。始める前は大変だと聞いていたのに、思ったよりやれたので自信が生まれてきたそうです。やりがいのある仕事だと話します。「はやく一人で配れるようになりたい」

最初の3ヶ月で、メール便配達はまだあきらめる寸前でした。と「晴れ晴れ」の石崎美智施設長は笑います。それほど、始めたすぐは体力的なことなどで、メイトさんが長続きしなくて困ったそうです。

2年前の当初、メイトさんをやってみたくて手を挙げたのは10人。しかし3ヶ月後残っていたのは、たった1人だけでした。しかし残った彼は、それでもやめようとは思いません。それから、石崎施設長にとっては悩みの日々が始まります。

最初の3ヶ月で、メール便配達はまだあきらめる寸前でした。と「晴れ晴れ」の石崎美智施設長は笑います。それほど、始めたすぐは体力的なことなどで、メイトさんが長続きしなくて困ったそうです。

それぞれのテンポで、
成長を続けるメイトさんたち。

メイトさんを始めて1年半になる佐藤直樹さんにとって、メール便配達は夢の仕事だったそうです。しかし始めてから半年ぐらひは、苦勞の連続。端末のボタンがうまく

たのです。すると、彼を見て、まわりでやりたいと言った人が増えてきたそうです。今では、「晴れ晴れ」のメイトさんは5人に。1日約80冊あまりを配達するようになっています。「うまくいなくてヘコんでいたとき、ヤマト運輸の人がよくやっていてとほめてくれました。大丈夫だよって応援してくれるので、やめたいけないとがんばりました！」満面の笑みで石崎施設長は話してくれました。

- 北東京主管支店 川口柳崎センター
面積4.04Km²/人口39,440人/世帯数15,968世帯
- 特定非営利活動法人
ヒールアップハウス “晴れ晴れ”
2008年6月メール便配達事業開始。
現在メイトさんは5名。1日約80冊を配達。
その他、パン製造販売、チラシポスティングなど。

「障がい者のクロネコメール便配達事業」
参入施設数 333施設 従事者数 1,401人 (2011年10月現在)
お問い合わせは…… (公財) ヤマト福祉財団 メール便担当
TEL 03-3248-0691 FAX 03-3542-5165
<http://www.yamato-fukushi.jp/>

端末を操作するのが楽しい
と言う、小倉秀文さん。み
んなと協力し合っている
のがうれしいそうです。他
の人のために、注意点とか
をまとめているのだとか。
「最初は不安でしたが、逃
げ出さずにやれました」
100冊以上を配ってみた
い、と意欲満々です。



家族のようにあたたかく見守る石崎美智施設長
(右)。最初は、責任のあることから、自分
から消極的になっているところがあったそう
です。しかし今は、できなければ、できるようにす
るにはどうすればいいかを、考えるようになっ
たと言います。「みなさんに任せられるというこ
とが、実感できました」彼らが話すと、他は内
職だとか作業という言い方をするの、メール
便配達の仕事という言葉を使うそう。それがと
ても新鮮だと話してくれました。

始めて一ヶ月しか経たない小屋原
敏文さんは、まだ職員と一緒に配達
をしています。それでも同行の職員
に「今日は見ているだけでいいよ」
二人で配達するからついてくるだ
けにして」と言ってくるそうです。
いずれ一人で配達するという目標
が、しつかりあるのです。「最初

自転車の前後が変わると、 成長を感じる

始めて一ヶ月しか経たない小屋原
敏文さんは、まだ職員と一緒に配達
をしています。それでも同行の職員
に「今日は見ているだけでいいよ」
二人で配達するからついてくるだ
けにして」と言ってくるそうです。
いずれ一人で配達するという目標
が、しつかりあるのです。「最初

始めて一ヶ月しか経たない小屋原
敏文さんは、まだ職員と一緒に配達
をしています。それでも同行の職員
に「今日は見ているだけでいいよ」
二人で配達するからついてくるだ
けにして」と言ってくるそうです。
いずれ一人で配達するという目標
が、しつかりあるのです。「最初

始めて一ヶ月しか経たない小屋原
敏文さんは、まだ職員と一緒に配達
をしています。それでも同行の職員
に「今日は見ているだけでいいよ」
二人で配達するからついてくるだ
けにして」と言ってくるそうです。
いずれ一人で配達するという目標
が、しつかりあるのです。「最初

始めて一ヶ月しか経たない小屋原
敏文さんは、まだ職員と一緒に配達
をしています。それでも同行の職員
に「今日は見ているだけでいいよ」
二人で配達するからついてくるだ
けにして」と言ってくるそうです。
いずれ一人で配達するという目標
が、しつかりあるのです。「最初

始めて一ヶ月しか経たない小屋原
敏文さんは、まだ職員と一緒に配達
をしています。それでも同行の職員
に「今日は見ているだけでいいよ」
二人で配達するからついてくるだ
けにして」と言ってくるそうです。
いずれ一人で配達するという目標
が、しつかりあるのです。「最初



始めて1年半になる、佐藤直樹さん。職員を同行しての配達は半年ぐらい続
けましたが、最近は自信を持って一人で配達ができるようになったと言
います。まわりから、最近性格が明るくなったねと言われるそうです。

ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長は「真剣

後ろ姿に 自信が表れている。

ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長は「真剣

ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長は「真剣

ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長は「真剣

始めて1年半になる、佐藤直樹さん。職員を同行しての配達は半年ぐらい続
けましたが、最近は自信を持って一人で配達ができるようになったと言
います。まわりから、最近性格が明るくなったねと言われるそうです。

ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長は「真剣

ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長は「真剣

ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長は「真剣

ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長は「真剣

ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長は「真剣

向かって前列左から／石崎美智施設長、小倉秀文
さん、湯田悟さん、佐藤直樹さん、小屋原敏文
さん、ヤマト福祉財団 東京支部 小澤秀好事務長
後列左から／ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長、川口西支店、武藤健



向かって前列左から／石崎美智施設長、小倉秀文
さん、湯田悟さん、佐藤直樹さん、小屋原敏文
さん、ヤマト福祉財団 東京支部 小澤秀好事務長
後列左から／ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長、川口西支店、武藤健

向かって前列左から／石崎美智施設長、小倉秀文
さん、湯田悟さん、佐藤直樹さん、小屋原敏文
さん、ヤマト福祉財団 東京支部 小澤秀好事務長
後列左から／ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長、川口西支店、武藤健

向かって前列左から／石崎美智施設長、小倉秀文
さん、湯田悟さん、佐藤直樹さん、小屋原敏文
さん、ヤマト福祉財団 東京支部 小澤秀好事務長
後列左から／ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長、川口西支店、武藤健

向かって前列左から／石崎美智施設長、小倉秀文
さん、湯田悟さん、佐藤直樹さん、小屋原敏文
さん、ヤマト福祉財団 東京支部 小澤秀好事務長
後列左から／ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長、川口西支店、武藤健

向かって前列左から／石崎美智施設長、小倉秀文
さん、湯田悟さん、佐藤直樹さん、小屋原敏文
さん、ヤマト福祉財団 東京支部 小澤秀好事務長
後列左から／ヤマト運輸 北東京主管支店 メー
ル便営業課 櫻井昭男課長、川口西支店、武藤健



自転車で配達する佐藤直樹さん

NPO法人WING就労継続支援B型事業所墨江作業所は、10月21日、住吉大社吉祥殿で52名の来場者を迎え報告会を開催しました。インタビュー形式で日々のメール便配達の様子や、メール便を配達して大変だったこと、楽しかったことなどを報告。司会者から「メール便配達に対する意気込み」を聞かれ、メイトさんたちはみな「これからも配達を続けていきたい」と答えてくれました。



私を
待っていて
くれる人が
います。

クロネコメール便配達 本人による特別報告会

11月9日には、地域活動支援センター希望の家が長岡市高齢者センターけさじろで報告会を開催。当日は地域の方や家族会、職員の方々、利用者さんなど65名が集まりました。

受け取る人の気持ちを考え、雨の日はメール便を濡らさないように工夫して配達するなど、4人のメイトさんの報告からは、1冊1冊丁寧に配達している様子が伝わってきました。その後の懇親会では希望の家のメンバーで手話歌を披露してくれました。



11月16日には、ななえ福祉作業所が、都城市総合福祉会館で障害児者・学校関係施設研修会として110名もの来場者のもと、報告会を開催。施設の工賃向上への取り組みとしてメール便配達を紹介しました。多い日は1日1人で100冊以上を配達することもあるようですが、誤配をしないよう注意しながら、みんなで協力し取り組んでいます。

メイトさんからは「配達先で地域の方々から『ありがとう』と声をかけてもらえることが、とてもうれしい」と報告してくれました。



11月19日には、メールサービスおからやが鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふるで報告会を開催し、約90名が集まりました。

冬に雪が降ることが多い地域ですが、今では1日500冊以上配達する日もあるようです。

おからやのある鶴岡市若葉町の北部町内会副会長からは「毎朝元気よく挨拶してくれ、おからやさんは町を明るくしてくれます」と、また配達地区である上畑町の北部町内会町内会長は「いつも生き活きと仕事をしています」と、そしてメイトさんからは「東日本大震災の時3週間配達が中断しましたが、再開できた時はとてもうれしかったです」等と報告してくれました。



現在、333カ所の施設で約1,400名ものクロネコメイトさんがメール便配達に従事しています。本年度も前年度に続き、より身近に来場者を迎えるため、地元での「クロネコメール便配達本人による特別報告会」を、ご応募いただいた4カ所の施設が開催しました。

Lovely Swan

競争力の高い商品を開発し、工賃アップを目指す

ラブリースワンプロジェクト

複数の事業所によるコラボレーションブランド

『ラブリースワン』の第一弾「ガトーショコラ」を、昨年10月に販売しました。

「競争力の高い商品を開発し、工賃アップを目指す」

そんなラブリースワンプロジェクトについてご紹介します。



【パッケージの組み立ては…】

荒川ひまわり第2（東京都荒川区）

箱折作業の仕事を精神障がいのある人に、家族が開放したことから始まった作業所です。いまは手工芸品製作や焼き菓子製造も行っています。

四つの事業所が
コラボレーション



【動物のイラストは…】

からふる（埼玉県川口市）

利用者の描いたイラストをデザイナーが商品企画化する事業、在宅ワーカーを応援するPCスクールなどを行っています。

【商品の販売は…】

スワン（東京都中央区）

「障がいのある人も、ない人も共に働き、共に生きていく社会の実現」を目指し全国に直営店3店、チェーン店25店を展開しています。



チョコレートと赤玉卵をたっぷり使用した手作りガトーショコラ ¥880（スワンWEBショップでも販売しています）

【ガトーショコラの製造は…】

かすたねっと（東京都練馬区）

知的障がい児のお母さんたちが集い、25年前に小規模作業所からスタート。いろいろな種類のクッキー、ケーキを製造販売しています。



コンセプトは「つくる人たちと、つながる幸せ」です

2010年9月『ラブリースワン』のブランドを立ち上げました。

このプロジェクトは「施設、作業所の良いところを結び付け、協力し合い、より競争力の高い商品を開発・販売できないだろうか」という公益法人・信託資本財団の提案からスワンが販売につながり、くみを整え、進めています。

コンセプトは「つくる人たちと、つながる幸せ」。しかし、「複数の施設、作業所がひとつになり、工賃アップを実現する」この新たなしくみがスタートするまでの道のりは、容易なものではありませんでした。

商品力、品質管理などの課題を乗り越えて

ラブリースワンの最初の企画は、各施設から選りすぐった食材を集めて作るナンカレのセットメニューでした。これを銀座スワンカフェでレシビ化し、全国の施設で簡単に調理・販売できるようにするという計画です。ところが調理方法を簡易にすると味が落ちてしまうこと、また品質管理などの問題も出てきました。他にもいろいろな商品企画がありましたが、どれも具体化に踏み出せず、試行錯誤が続く中、東日本大震災が発生。このままではいけないと悩んでいた時「チョコレートケーキで美味

しいものがある」という情報が飛び込んできました。それが練馬区の作業所「かすたねっと」で作られている「ガトーショコラ」です。これをラブリースワンブランドの第一弾に決定しました。

より多くの施設が協力・参加できる企画に

この企画には、四つの事業所がそれぞれの持ち味を発揮して参加しています。ガトーショコラの製造は「かすたねっと」が担当。商品パッケージの製作は、荒川区の作業所「荒川ひまわり第2」の担当です。パッケージには、埼玉県川口市の施設「からふる」の利用者さんが描いたかわいいイラストを入れることにしました。販売は「スワン」が行います。

こうして昨年10月、ついにスワンベーカーリー銀座店、赤坂店でガトーショコラの販売をスタート。2カ月で約600個と順調に売上げを伸ばしました。現在はまだ利幅が狭いですが、製造個数の増加や品質管理の徹底、コスト削減に努め、やがては全国の施設でも販売できればと考えています。さらに、百貨店やコンビニでの販売を視野に入れ、その販売条件を満たすことも今後の課題です。

今回の成功に続いて「もっと多くの仲間が参加でき、工賃アップを目指せる商品を…」そんな願いを込めた第二・第三のラブリースワンブランドが、次々と生まれようとしています。

つながり∞ふくしま カンバッジ販売

地震、津波、原発の大きな被害は、南相馬の作業所から仕事を奪いました。

障がいのある仲間が仕事の間を取り戻せるように…。

そこで南相馬市内の福祉作業所が連携し、南相馬ファクトリーを結成して“カンバッジの製造販売”を開始しました。

バッジのイラストは、利用者さんや作業所職員のデザインです。

作る仕事、袋に詰める仕事、発送する仕事などを分担し、その売上を工賃として支払います。

このカンバッジ販売から、南相馬の作業所の仕事おこしがはじまります。



■カンバッジ販売にどうぞご協力ください■

カンバッジの販売は、南相馬の作業所に仕事の機会を広げ、さらに、販売するみなさまの収入にもつながっていきます。

●カンバッジの販売について

100個入り1ケースが基本単位です。1個150円(税込)で販売をお願いします。店頭、イベントなどで直接販売可能な専用BOXにてお届けします。10個入りメール便でのお届けもいたします(販売専用BOX無し)。

●価格 ※卸価格(税込)

- ▶100個入りケース…12,500円(発送の場合)
- ▶100個入りケース…11,000円(南相馬引渡しの場合)
- ▶10個入り……………1,250円(メール便でのお届けの場合)

●お支払い

発送の際、商品と一緒に振込先のご案内を同封します。
2週間以内の支払いをお願いします。

●バッジサイズ

2.5cm・3.2cmの2種類。どちらか1種、2サイズMIXから選べます。

●オリジナルデザイン

ご希望にお応えして、イベントなどにも使えるオリジナルデザインのバッジも製作します。

●特注品も手がけます

45mmサイズ、マグネットの商品も製作しています。ご相談ください。

お問い合わせ先は

南相馬ファクトリー

福島県南相馬市原町区上高平

字中里430-2(えんどう豆内)

担当/佐藤定広

TEL/FAX 0244-23-4177

<http://www.tsunagarimugen.com>

メール minamisoma.fc@gmail.com

※ヤマト福祉財団はこの事業に助成しています。

ヤマト福祉財団全国支部連絡先(ヤマト運輸(株)内)

支 部	事務長	連絡先
北海道支部	加藤房男	TEL. 011-891-5040
東北支部	小原 守	TEL. 022-374-8065
東京支部	小澤秀好	TEL. 03-5564-3705
関東支部	碓山 明	TEL. 045-508-6106
関東支部東地区	平井 忠	TEL. 043-259-7364
北信越支部	南雲真一	TEL. 025-231-9512
中部支部	矢野静香	TEL. 052-725-3633
関西支部	石田久雄	TEL. 06-6682-8570
中国支部	竹下憲雄	TEL. 082-849-1451
四国支部	紅露 隆	TEL. 0877-46-7875
九州支部	目野和彦	TEL. 092-931-3310
沖縄支部	佐渡山一郎	TEL. 098-840-3605

ご協力ありがとうございました。 スワンのX'マスケーキ販売

2011年12月、スワンのクリスマスケーキは昨年より約5,200個多い97,954個を販売しました。全国のヤマト運輸、ヤマトグループ各社のみなさまのご協力ありがとうございました。



つたわる
フォント

読みやすさを追求した書体

PRINTED WITH
SOY INK

アメリカ大豆協会認定の
大豆油インクを使用しています。